

補助事業計画書・成果報告書－1

計画 平成27年 4月 1日 策定

令和 2年 4月 1日 修正

成果報告 令和 2年 5月31日 報告

担当課

産業振興課

補助金等の名称	街中にぎわい推進事業補助金				
---------	---------------	--	--	--	--

予算科目	一般会計	款	6	項	1	目	2
予算事業名	街中にぎわい推進事業						
実施計画の位置づけ	魅力ある商業地を形成します						

補助金分類		
国県補助の状況	国付・県付・国直接・県直接・国県補助なし	千円
交付先	商業団体等(市内商店会、佐倉商工会議所等)	
支出根拠規定	街中にぎわい推進事業補助金交付要綱	

補助の目的	当該事業の実施により、商店街が活性化し、魅力ある商業地を形成することにより、商業の活性化及び地域経済の振興を図ることを目的とする。
補助の効果	市内商業団体が行う各種の街中にぎわい創出事業(商店街の環境整備、商店街活性化イベント、人材育成、集客力向上など)を行うための経費の一部を補助することにより、魅力ある商業地を形成し、商業や商店街の活性化及び地域経済の活性化による市民満足度の向上を図る。
補助対象事業の具体的内容	市内の商業団体が、商業や商店街の活性化及び地域経済の振興を図ることを目的として実施する、意欲的で工夫とアイデアが活かされた以下の事業への取り組みについて効果的に支援する。 ①商店街施設整備事業 ②にぎわいの創出イベント開催事業 ③個店の魅力向上事業 ④次世代を担う人材育成事業 ⑤集客力向上事業 ⑥地域連携交流活動の支援事業 ⑦商業機能の強化事業 ⑧商業団体の行う商店街及びコミュニティ(地域社会)活性化事業
対象経費及び補助率	(対象経費)①商店街街路灯のLED化や商店街の共同施設整備などに要する経費 ②イベント事業に要する経費 ③「一店逸品」の創出などに要する経費 ④講演会や研修会などに要する経費 ⑤商店街の集客力向上に要する経費 ⑥地域団体などと連携し、地域課題を解決する事業などに要する経費 ⑦各種調査や研究などに要する経費 ⑧自治会など一団体となって実施するイベント事業に要する経費 (期間)②・③・⑤は、同一団体の同一事業に対する補助は、最長3年間 (補助率)補助対象経費の1/2
補助金額の根拠	補助金額は補助の対象となる経費の50パーセントを上限として、補助事業実施者に負担を求める。 また、補助金額は、予算に定める額の範囲内とし、補助金の上限額及び補助率は事業の内容に応じ、街中にぎわい推進事業補助金交付要綱別表に定めるとおりとする。
備考	
1/2を超えて補助、設立5年を超えて運営費補助する理由	
その他	
補助期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日

補助事業計画書・成果報告書－2

		担当課		産業振興課	
補助金等の名称		街中にぎわい推進事業補助金			
平成27年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値		決算額 〔千円〕	各年度成果値
	14,200	目標値 実施事業 17件		12,328	成果値 実施事業 20件 (21件に対し交付決定を行ったが、1件が中止により全額返金となったため、実施事業は20件)
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	目標値として設定した平成23年度の実績値を上回る事業に対し補助を行なった。今後も継続した補助が必要だが、同時に補助金なしでの事業実施が出来るよう商店会に促していく必要もある。				
平成28年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値		決算額 〔千円〕	各年度成果値
	14,200	目標値 実施事業 17件		10,218	成果値 実施事業 20件 (21件に対し交付決定を行ったが、1件が中止により全額返金となったため、実施事業は20件)
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	前年同様、目標値を上回ることができた。今後は、商店街が面する新たな課題(施設等の老朽化、外国人集客対応等)への補助拡大や、事業メニューごとの補助金額上限の検討が必要である。				
平成29年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値		決算額 〔千円〕	各年度成果値
	14,200	目標値 実施事業 17件		10,517	成果値 実施事業 18件 (20件に対し交付決定を行ったが、2件が中止又は取り下げにより全額返金となったため、実施事業は18件)
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	前年同様、目標値を上回ることができた。今後も継続した補助が必要だが、自立運営できるよう促していく必要もある。また、補助金額上限の検討が必要である。				
平成30年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値		決算額 〔千円〕	各年度成果値
	14,200	目標値 実施事業 17件		10,893	成果値 実施事業 18件
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	昨年度同様、目標値を上回ることが出来た。予算額を超える申請があったため、今後、補助金額の上限設定などの措置が必要と思われる。				
令和元年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値		決算額 〔千円〕	各年度成果値
	14,200	目標値 実施事業 17件		11,495	成果値 実施事業 18件 (19件に対し交付決定を行ったが、1件が中止又は取り下げにより全額返金となったため、実施事業は18件)
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	目標値を上回ることが出来た。昨年同様に予算額を超える申請があったため、令和2年度より、1事業当たりの補助上限額(200万円)を設定した。				
計画期間終了後の最終的な目標値		市内商店会の来街者数の増加や商店会会員数の増加による商店街の活性化及び地域経済の振興を図る。			
計画期間終了後の最終的な成果値		平成27年度から令和元年度までの5年間で、94件の実施事業に対して支援を行った。			